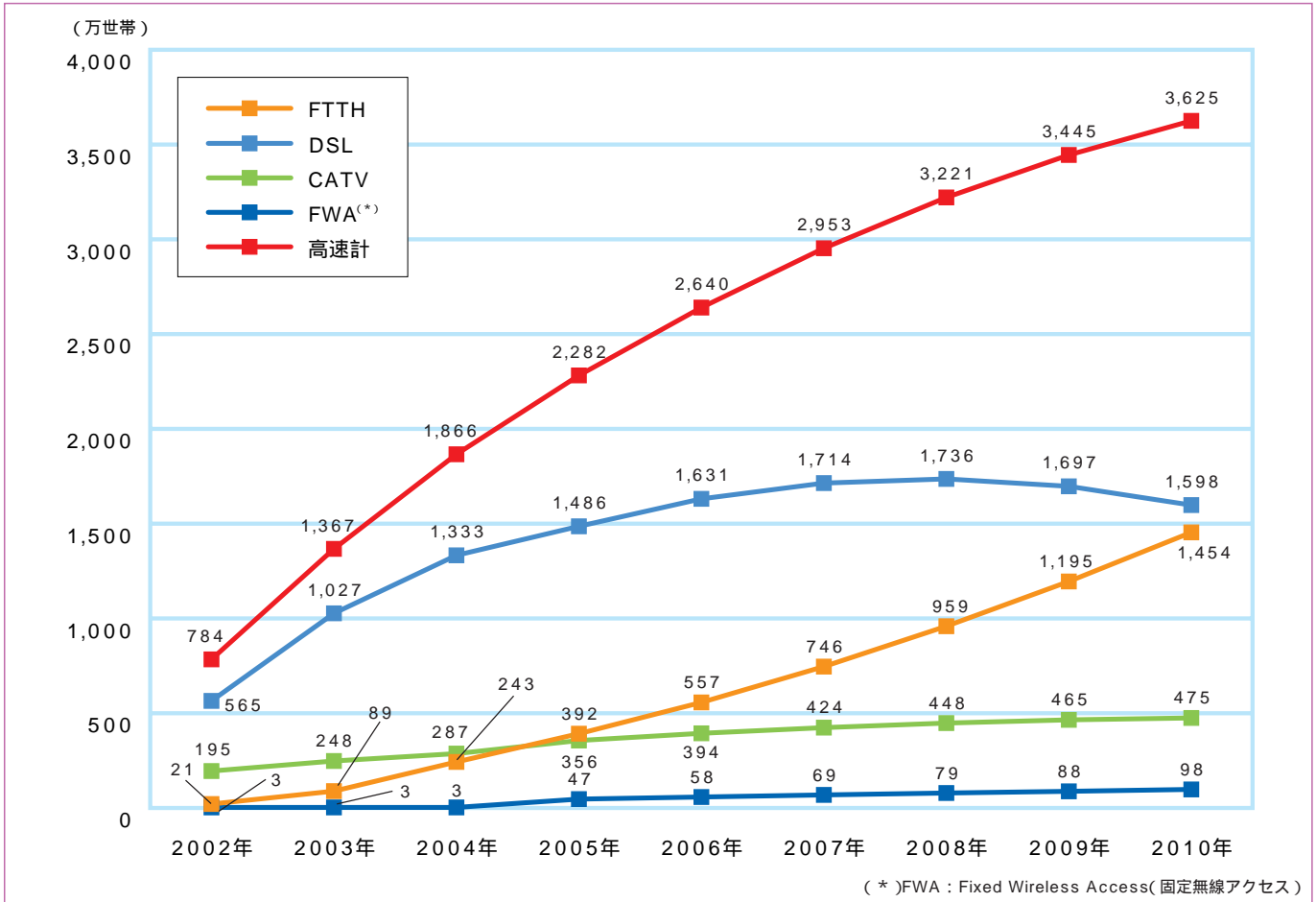


# 光ファイバーの1,000万突破は2009年 2010年のブロードバンド世帯数は3,625万に

図1 2010年における我が国のブロードバンド普及見通し



総務省の「全国均衡のあるブロードバンド基盤の整備に関する研究会」が7月に、「ブロードバンド構想2010 デバイド・ゼロ・フロントランナー日本への道標」の最終報告書を取りまとめた。

日本におけるブロードバンドサービスの現状を見ると、1999年に常時接続・定額制のADSLサービスが開始され、本格的なブロードバンド時代が始まって以来、差別化の観点からサービスの低価格化および高速化が進んでいる。

また、世界に先駆けて本格的なサービ

スを開始したFTTHについては、最近では伝送速度1Gbpsのサービスや従来のインターネットアクセスに加え、映像配信サービス、IP電話も併せた、付加価値型のサービスが提供されるようになってきた。

日本においては、早いペースでブロードバンド基盤整備が進展した。すでに、e-Japan戦略で当初掲げていた目標(2005年までにDSLなど3,000万世帯、FTTH1,000万世帯)を環境整備としては達成しているが、実加入数はDSLなどが1,620

万加入、FTTHが285万加入にとどまっている(2005年3月末時点)。

こうした状況の中、2010年におけるブロードバンドの加入者数ベースでの普及の見通しは図1のとおりである。

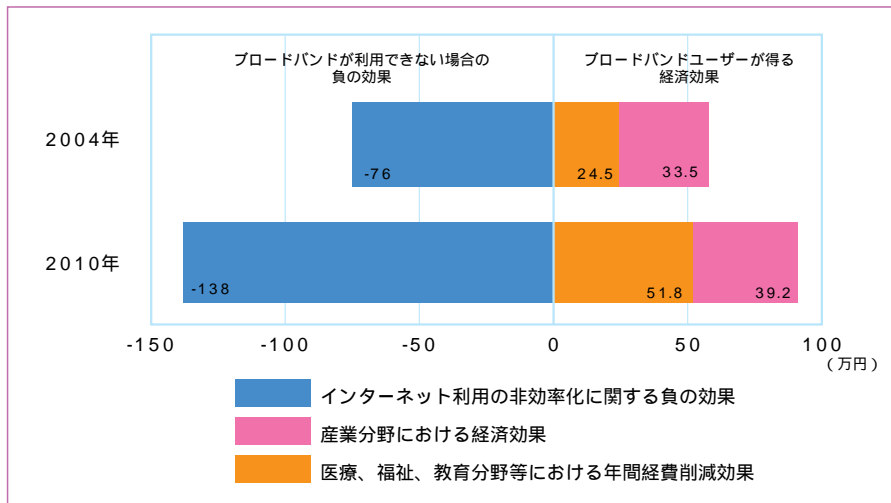
これによれば、2010年におけるブロードバンド全体の加入者数は3,500万から3,700万程度になるものと試算し、このうちFTTHサービスの加入者は1,450万程度、ADSLは1,600万程度、ケーブルインターネットは480万程度になるものと見込まれている。

図2 普及見通しにかかわるブロードバンドサービス利用料金の水準

ケース1	FTTH	DSL	CATV	FWA
2004年末	6,000円程度	3,000円程度	4,000円程度	4,000円程度
2005年末	4,000円程度	2,750円程度	4,000円程度	4,000円程度
2006年末	4,000円程度	2,750円程度	4,000円程度	4,000円程度
2007年末	4,000円程度	2,250円程度	3,000円程度	4,000円程度
2008年末	3,000円程度	2,250円程度	3,000円程度	4,000円程度
2009年末	3,000円程度	2,150円程度	3,000円程度	4,000円程度
2010年末	2,500円程度	2,000円程度	3,000円程度	4,000円程度

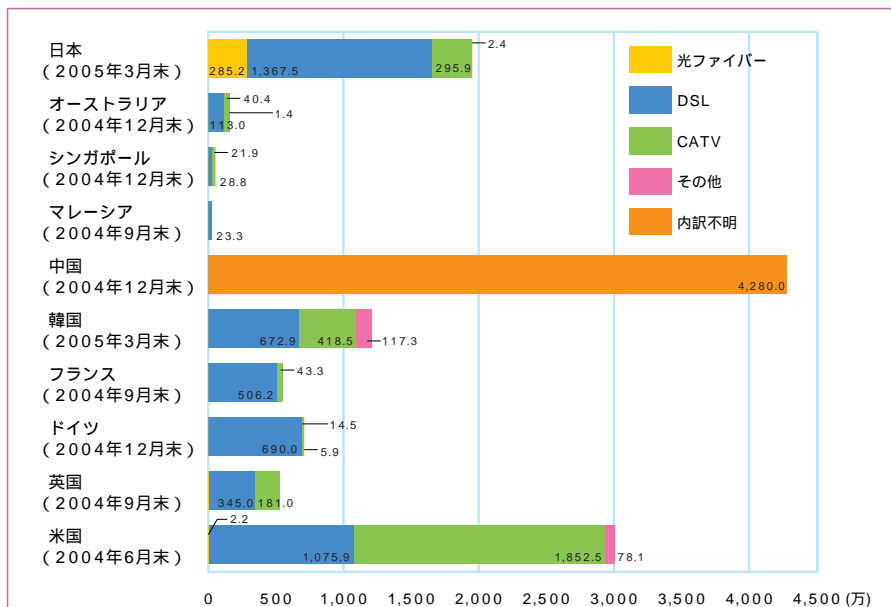
この料金で推移することを前提条件として2010年までの普及を予測。FTTHの加入者数を飛躍的に増加させるためには、思いきったサービス展開や、FTTHならではの魅力的なコンテンツやサービスの開発・普及が必要になると見られる。

図3 デジタルディバイドによる年間1世帯当たりの経済的格差(町村部)



ブロードバンドの有無による経済格差は時間の経過とともに広がり、マイナス面だけでも76万円(2004年)から138万円(2010年)にまで拡大すると試算されている。

図4 主な諸外国のブロードバンドサービス加入者数の現状



日本におけるDSL加入者数は1,367万、FTTH加入者数は285万を突破した。諸外国と比較すると、FTTHの加入者数については世界第1位となっている。

注1: CATVはCATV網を活用した高速インターネットサービス。

注2: 日本、米国以外についてはDSL等の一部の回線種別の加入者数のみ記載されているがこれについては他の回線種別の加入者数のデータが入手できないためであり、サービスが行われていないからではない。

注3: データの出典については、日本、シンガポール、マレーシアについては総務省調べ。米国についてはFCCレポートより。韓国については情報通信省発表より。英国についてはOFCOM発表より。フランスについてはART発表より。ドイツについては欧州委員会発表より。中国については中国インターネット情報センター(CNNIC)発表より。オーストラリアについては、オーストラリア競争・消費者委員会(ACCC)発表より。

出所 総務省の「全国均衡のあるブロードバンド基盤の整備に関する研究会」/「次世代ブロードバンド構想2010-ディバイド・ゼロ・フロントランナー日本への道標-」より



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)